

ハローライフ構想
3年間の成果と未来への展望

HELLOlife Progress Report



HELLO *life*

ハローライフ構想 3年間の成果と未来への展望 HELLOlife Progress Report

発行元 NPO法人HELLOlife

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-16-14

TEL : 06-4393-8210 FAX : 06-7878-6525

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



NPO法人HELLOlifeは、「働くこと」にまつわる課題を事業を通じて解決し、その仕組みや戦術をシステムとして社会に普遍化させることを目指しています。

自分の仕事や働き方・暮らしに不安を抱えている。

就職活動やキャリアアップがうまくいかない。

採用活動や組織づくりに苦戦している。

個人や企業、行政が持つこうした悩みに寄り添い、最適なビジョンを共に考え、変革のためのプランをつくり、課題解決を一つずつ実現してきました。

そして、わたしたちが今改めて目指しているのは、新たな仕組みを全国に広く波及させ、就業・雇用・教育の社会システムをアップデートすることです。

2017年～2019年にかけての3年間、公益財団法人日本財団様のご支援をいただきながら、

今の時代に合わせた新たな就業支援策の構築に向けて「ハローライフ構想」の実現に挑戦しました。

「ハローライフ構想」は誰もが自分らしい働き方・生き方を実現できる社会づくりに向けたアクションの総称で、公営住宅を活用した就業支援や、地域にあるお寺を活用した取り組みなどを行いました。

また既存の就業支援施策のアップデートにもチャレンジしました。

本冊子では、わたしたちの3年間の挑戦をまとめています。

そのプロセスと成果を、一人でも多くの方に知っていただければ幸いです。



HELLOlife は、地域に眠る資源に光をあて、様々な方の協力を得ながら、誰も踏み込んで来なかった領域での事業を一つずつ形にしてきました。初めてのチャレンジも多く、もちろんたくさんの壁がありましたが、振り返れば一つひとつが形となり、蓄積されていることに気づかされます。ここまでの事業づくりにご支援いただいた全ての関係者のみなさまに心より感謝を申し上げます。行政、民間、NPOなどあらゆるセクターが協働すること、また就労支援の現場において活躍する団体のスタッフが熱量を持ち、一人ひとりの人生と向き合いながら必要なサポートを行うことが、これからの時代には不可欠です。HELLOlife は、この先もたくさんの方々と協力しながら、共に新しいチャレンジを続けます。

NPO法人HELLOlife 代表理事 塩山 諒

3年間で取り組んだプロジェクト

P. 10 →

PROJECT 1

仕事だけではなく住まいのサポートを。
公営住宅の空き室を活用した“住宅つき”就職支援プロジェクト

2017年度～現在も継続実施中

MODEL HOUSE

日本財団・大阪府・四條畷市・NPO法人HELLOlifeの四者で協定を締結し実施したプロジェクト。四條畷市にある大阪府営「清滝住宅」の空き室を、不安定な就業状況にある若者と共によりノベーションし、就業と住まいのサポートを同時に進めることで若者の自立を促進しました。また「清滝住宅」の地域住民やプロジェクト参加者同士のコミュニティづくりに向けたサポートも行いました。



P. 26 →

PROJECT 3

行政資本100%、既存施策の価値拡充
大阪府総合就業支援拠点

2017年度～現在も継続実施中

OSAKA しごとフィールド

大阪府総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」の事業を受託し、『全国で一番信頼される就業・人材確保支援サービス』を目指して、施設のブランディング・空間・サービス内容の見直し等に取り組みました。



P. 20 →

PROJECT 2

お寺という地域資源を徹底活用。
新たな就業支援の形を提案！

2018年度

お寺 de ハレバーレ！

「行政機関が設置する就業支援組織ではリーチできない層へのアプローチ」を目指し、大阪南堀江にある「萬福寺」を舞台に約7日間の社会実験イベントを開催。お寺と協働することで、地域資源を活用した新たな就業支援のモデルを模索しました。またこれによって“必要な人に支援を届ける”広報面における課題と、行政資本だけに依らない持続可能な就業支援の可能性を開拓しました。



P. 32 →

PROJECT 4

行政×民間の
ハイブリッド型就業支援施設

2013年度～現在も継続実施中

ハローライフ

2013年にNPO法人HELLOlifeが独自で開設した民間の就業支援拠点「ハローライフ」は、企業の採用活動や若者を中心とした求職者のサポートを民間ならではの視点で実施しながら、厚生労働省の地域若者サポートステーションの窓口としての機能も果たした拠点です。





1年目 2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）

全国初の取り組みとして実施

- 公益財団法人日本財団（以下、日本財団）から助成を受け、大阪府・日本財団・NPO法人HELLOlifeの三者で協定を締結。
- 四條畷市にある大阪府営清滝住宅の空室をリノベーションし、非正規雇用や不安定な就業状況にある若者（15歳～概ね39歳まで）に無償で提供しました。
- 若者の職業・経済的自立をサポート。家賃等にかかる生活コストを削減することで、希望を持って働ける状態をつくることを目指しました。初年度は全部で11戸（10戸は居室／1戸はコミュニティスペース）を活用しました。



2年目 2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）

継続推進

- 事業を継続実施し、翌年度以降の展開（同地域での拡大展開）を踏まえて事業整備しました。
- 日本財団からの助成が終了した後も事業を継続できるよう、生み出した価値を振り返ると共に自走できる事業の形を模索しました。



3年目 2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）

拡大と、継続実施するためのビジネス化推進

- 事業戸数を11戸から30戸へ拡大（28戸は居室／2戸はコミュニティスペースとして活用）し、さらなる広がりを目指しました。
- サステナブルな事業の推進に向けて、地元である四條畷市や近隣に拠点を置く地元企業とのマッチングをセットにした企業参画モデルに取り組みました。受益者（入居者や入居者の雇用受け入れ先となる企業）が負担する官民連携型の事業モデルの構築を目指しました。
- 入居の段階ですでに就職が決まっているスキームであるため、特に入社してから職場定着に力を入れ、参加者をサポートしました。

3つの特徴

大阪府、四條畷市、公益財団法人日本財団、NPO法人HELLOlifeによる多様なステークホルダーの連携によって実現した全国初の取り組み

公営住宅の使用、地域住民との関係性構築、事業費用の捻出等、本事業を実現する上でクリアしなければならない様々なハードルがありました。大阪府、四條畷市、公益財団法人日本財団、NPO法人HELLOlifeの四者が協定を締結して連携することによって、無事に事業を実現することができました。

行政機関内の部署も横断した協力体制の構築

本事業の実施にあたっては大阪府にも重要な役割を担っていただいています。府内においても2つの部署が連携をしながら事業に取り組んでいます。一つは雇用を推進する雇用担当部署、もう一つは府営住宅の管理を行う公営住宅管理担当部署です。本事業は、若者に対して住宅と就職の両方の側面からのサポートが必要であることから、当団体も調整機能を担いつつ、府内内の部署も連携・横断しながら目的達成に向けて取り組みを進めました。

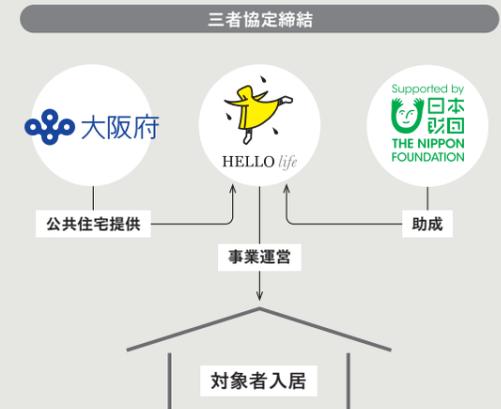
住宅、仕事、コミュニティ 若者の潜在的なニーズに対応することを意識した事業

本事業では、「就職のサポート」だけでなく、公営住宅の空き室を住まいとして提供する「住宅サポート」や、地域住民やプロジェクトに参加して入居者相互の関係性を築く「コミュニティのサポート」にも取り組んでいます。特にコミュニティサポートにおいては、若者の潜在的なニーズとして強く求められている「地域とのつながり」¹⁾を体现しています。

*1. NPO法人HELLOlifeと四條畷市が協働で実施した『若者地域生活ニーズの把握に向けた実態調査』／2018年より

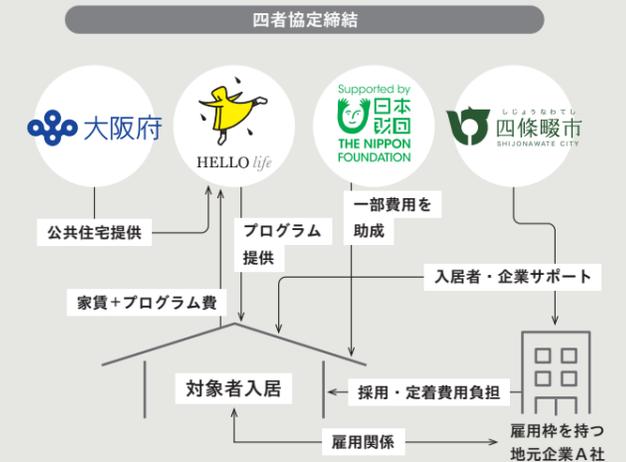
3年間の事業スキーム図

2017～2018年度



2017年～2018年度は、大阪府・日本財団・NPO法人HELLOlifeの三者協定のもと事業を実施。モデル事業として、全11戸の空き室をリノベーションし活用しました。日本財団からの助成金を活用し、事業参加者からの費用は徴収せず、無償で住宅を提供しました。

2019年度



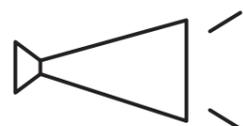
2019年度は、大阪府・日本財団・NPO法人HELLOlifeに加えて、事業実施地域である四條畷市にも協定参画をいただきました。四條畷市との連携により、地元企業参画型の事業モデルに移行。サステナブルな事業運営ができるよう、受益者（参画企業・入居者）から費用を徴収しての運営を試みました。

※図は簡略化しています。

本事業では、事業に参加した若者、若者の就職先となる地元企業、自治体、清滝住宅に住む地域住民など、多様なステークホルダーが関係しています。3年間の事業を通じて、それぞれのステークホルダーにどんな変化が生まれたのでしょうか。

1 若者の変化

どの若者も、自分の暮らしを自分の手で作り上げていく過程を経て、目まぐるしい変化が起きたように感じます。



参加者の声

\ voice 01 /

**帰ったら誰かが側にいてくれる環境だったから、
思いっきり挑戦できた。
「特別な時間」を過ごすことができた
清滝団地での生活。**

参加したきっかけは、新聞の参加者募集の案内を読んだ祖母が背中を押してくれたことでした。僕は大学を中退し、家にひきこもりがちだったので何か変わるきっかけを探していました。仕事探しも不安だし、一人暮らしの経験もない自分にとっては、その両方のサポートを受けられることが夢のような話でした。人生で初めての一人暮らしで、驚くこともたくさん！ 当たり前のことなのですが、食事も洗濯も掃除も、自分の身の回りのことは全て自分でこなさなくてはなりません。何もしないままだと部屋は荒れていくし、その荒れた部屋を見ると気持ちも塞がってしまう…。大げさかもしれませんが気持ちは「一国一城の主」です。自分だけの部屋を持つことで、これまで以上に自分の生活を見直しましたし、責任感も持てるようになりました。このプロジェクトに参加したことは、今振り返ってみても、人生のなかで特別な時間だったんだということを感じます。【2017-2018年度入居者 間嶋さん】



\ voice 02 /

**仕事と住まいが同時に手に入る。
自立するための環境と、自身のフィーリングに合う
会社に出会うことができた。**

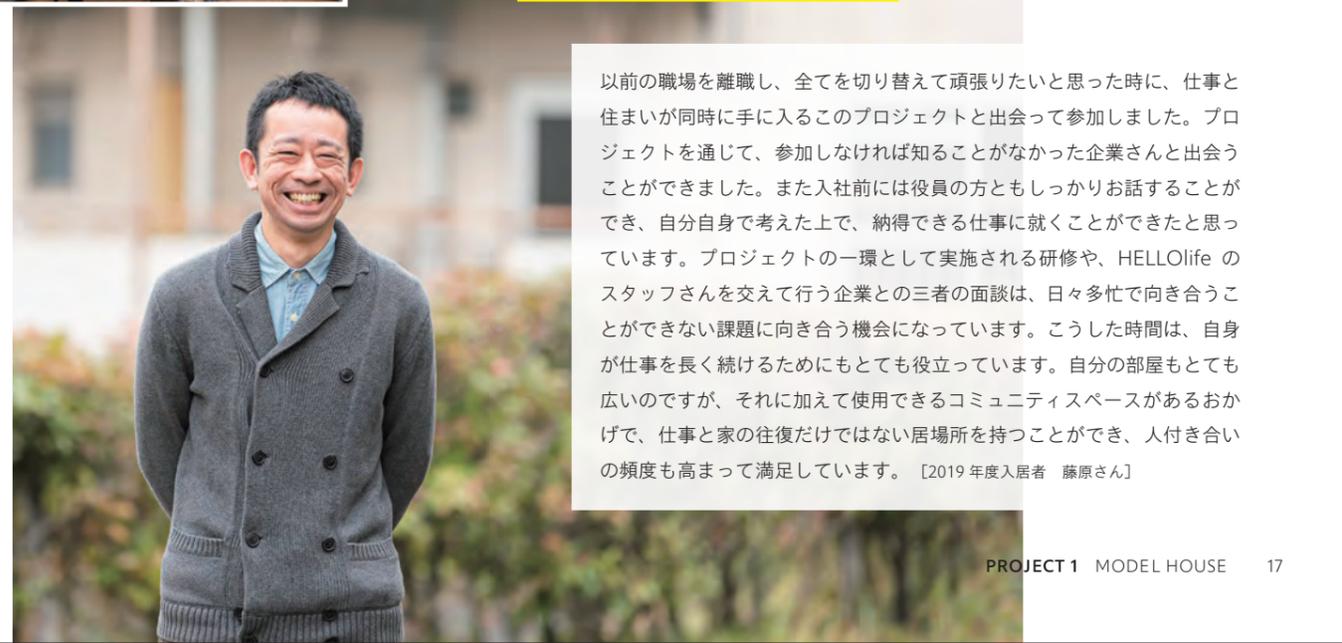
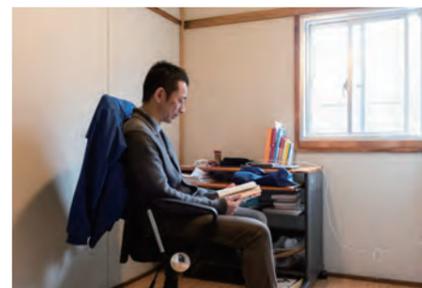
非正規で働いたこともあり、なかなか仕事や生活が安定しませんでした。このプロジェクトをたまたまニュースで見、「私も自立したい」と思い参加しました。魅力を感じたのは、仕事と住まいが同時に手に入ることで、そして入居したあとのアフターケアがあることです。仕事だけでなく、コミュニティスペースでの参加者同士の研修の場では、入社時期も同じで立場が似ている方々と集まることができました。仲間が得られて、心強かったです。【2019年度入居者 高橋さん】



\ voice 03 /

**「環境をガラッと変えて、全部切り替えたい！」が
実現できたからこそ、自分自身で納得して
進める道を見つけられた。**

以前の職場を離職し、全てを切り替えて頑張りたいと思った時に、仕事と住まいが同時に手に入るこのプロジェクトと出会って参加しました。プロジェクトを通じて、参加しなければ知ることがなかった企業さんと出会うことができました。また入社前には役員の方もしっかりお話をすることができ、自分自身で考えた上で、納得できる仕事に就くことができたと思っています。プロジェクトの一環として実施される研修や、HELLOlifeのスタッフさんを交えて行う企業との三者の面談は、日々多忙で向き合うことができない課題に向き合う機会になっています。こうした時間は、自身が仕事を長く続けるためにもとても役立っています。自分の部屋もとても広いのですが、それに加えて使用できるコミュニティスペースがあるおかげで、仕事と家の往復だけではない居場所を持つことができ、人付き合いの頻度も高まって満足しています。【2019年度入居者 藤原さん】



1 「働くこと」にまつわる

14種のコンテンツをお寺という空間で提供する

わたしたちの街に何気なく存在する「お寺」を、働くことや生きることに悩む若者を支える場として活かすことができないか…そんな発想から今回の社会実験は始まりました。ご協力いただいたのは、大阪 南堀江に位置する浄土真宗本願寺派 萬福寺です。宗派を超えた協力を得ながら、「働くこと」に悩みを持つ若者を対象に「お坊さんによる人生相談」、「仏教用語から考えるビジネスマナー講座」など、多彩な14種のコンテンツを提供し、就業支援における効果検証も行いました。



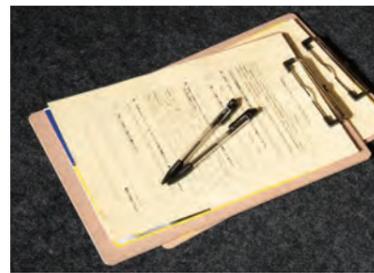
2 参加者への調査

社会実験としての取り組みであることから、本事業では提供した14種のコンテンツのうち、特に就職支援の機能を意識して開催した「お坊さんによる人生相談」「納得のいく仕事さがしサポートプログラム」「キャリアカウンセラーによる人生相談」の3つのコンテンツに参加された方を対象に、コンテンツに参加する事前事後の変化についてアンケートとヒアリング調査を行いました。



3 寺院へのアンケート調査

取り組みの普及を念頭に、寺院のみなさまを対象とするアンケートを行いました。アンケートは、26の寺院を対象に実施し、配布や回収には本事業にご協力いただいた寺院からご支援をいただきました。調査は、「寺院という場や機能を活用し若者の就職支援を行うことについて、お寺の関係者がどのように感じるか」「檀家・檀信徒を代表とする寺院独自のネットワークが、対象する若者層への情報発信に効果的か」という2点を把握することを目的としました。



14種のコンテンツ (一部紹介)



お坊さんによる人生相談

キャラクターがそれぞれ異なる総勢14名の人生経験豊富なお坊さんたちが、仕事、人生など、あらゆる悩みの相談にのってくれるコンテンツです。

対象年齢：15~44歳以下



若者支援施策
イノベーションシンポジウム

「お寺」という社会資源と、就業支援を組み合わせた今回の7日間の社会実験イベントについて、就業支援、お寺、社会、教育など様々な分野で活躍されているゲストをお招きし、それぞれの立場から意見を交換しました。(協力：IMPACT Lab.)



[その他コンテンツ]

キャリアカウンセラーによる仕事相談/納得のいく仕事さがしサポートプログラム/喋らないコミュニケーション講座/仏教用語から考えるビジネスマナー講座